

令和8年8月千葉豪雨に対する「にんじん」の事後対策

令和8年8月19日
農林水産部担い手支援課

「にんじん」における事後対策

ほ場の状況	対 策
豪雨でほ場の大半が土壌流亡等により被害（収穫見込みが無い場合）	● <u>播き直し</u>
＜発芽後のほ場＞ ほ場が冠水したが、水が引いてニンジンが残っている状態（収穫見込みが有る場合）	●生育ステージが小さいので<u>丁寧な中耕作業</u>。 ●必要に応じて、希釈濃度を薄めて<u>葉面散布剤を散布</u>。 ●病徴がないかよく観察を行い、<u>5～6 葉期になったら速やかに薬剤防除（殺菌剤）</u>。 ※5 葉期末満の生育ステージでは薬害リスクがあるので注意。
＜播種直後（発芽前）のほ場＞ ほ場が冠水したが、水が引いている状態（発芽の可能性のある場合）	●「たがやす」等の中耕機により<u>土壌表層を中耕</u>し様子をみる（写真参照）。 ●水が引いて数日（5 日程度）しても発芽しない又は著しく発芽率が悪い場合は<u>播き直し</u>。  歯車の車輪が土壌を反転させながら中耕。表層をほぐすと同時に土壌中へ酸素供給する。※商品名「たがやす」（株）向井工業

＜「播き直し」について＞

●播種の限界時期は「8月末まで」（＊）

ただし、水がひいて作業に入れる状態になったら速やかに行いましょう。
※9月以降の播種は、肥大不足、尻細や着色不良の発生が多くなります。

●品種の選択（＊）

年内収穫 ⇒「**愛紅**」（住化アグリテック）…肥大が早い

年明け収穫 ⇒「**れいめい**」（横浜植木）…低温期でも肥大が進む

＊令和5年度の試験結果であり、秋の天候状況によっては、収量が確保できない恐れがあります。

（参考）試験研究データ…引用：主要露地野菜の台風対策技術（農林水産技術会議 R8.3 月）

品種名（種苗会社）	播種日	収穫日	平均根重	ML 率	A 品率
愛紅（住化アグリテック）	R5.8.29	R5.12.22	151g	80%	73%
れいめい（横浜植木）	R5.8.29	R6.1.25	136g	76%	78%

＜「にんじん」に登録のある主な殺菌剤＞

薬剤名	FRAC	適用病害	希釈倍数	使用時期	使用回数
ストロビーフロアブル	11(C3)	黒葉枯病	2000-3000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内
		斑点病	3000 倍		
ロブラール水和剤	2(E3)	黒葉枯病、斑点病	1000-1500 倍	収穫 14 日前まで	4 回以内

ベルコートフロアブル	MO7	黒葉枯病、斑点病、 うどんこ病、菌核病	1000 倍	収穫 14 日前まで	5 回以内
------------	-----	------------------------	--------	------------	-------

（注意）農薬使用前にラベル表示で再度、登録内容を確認しましょう！